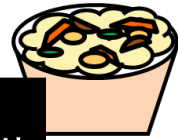


2月3日は、^{せつぶん}節分の^{こんだて}献立です。



ごもくてまきずし 牛乳
 といにくとだいの
 あげからめ
 おにかまいい
 すましじる



● ^{せつぶん}節分とは…？

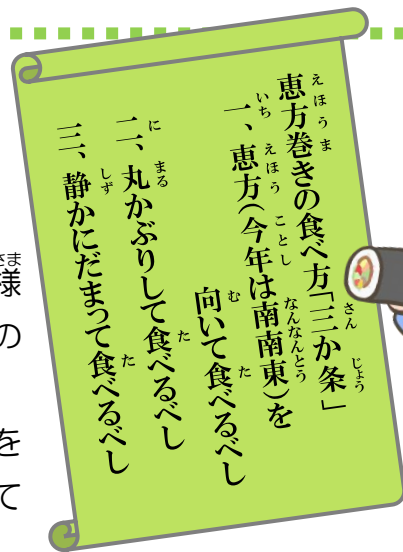
^{せつぶん}節分とは、^{かくきせつ}各季節の^ひはじまりの日（^{りっしゅん}立春・^{りっか}立夏・^{りっしゅう}立秋・^{りっとう}立冬）の^{ぜんじつ}前日のことをいいます。
 日本では、^{にほん}特に^{とく}立春の^{りっしゅん}前日（^{ぜんじつ}「節分」）とよび、^{いちねん}一年の^{わざわ}災いを^{はら}払うために^{さまざま}様々な^{ぎょうじ}行事が^{おこな}行われています。
 旧暦では「^{りっしゅん}立春」で冬が^{きゅうれき}終わり^{りっしゅん}春になり、^{ふゆ}一年が^おはじまると^{いちねん}考えられてきたため、^{かんが}立春の前日の「^{りっしゅん}節分」は^{ぜんじつ}大みそかの^{せつぶん}ように^{おお}特に^{とく}大切に^{たいせつ}され^{ぎょうじ}行事として^{つた}伝えられてきました。



えほうま 恵方巻き

^{かんさい}関西では、^{ふとま}太巻き^{すし}寿司（^{えほうま}恵方巻き）を^き切らずに^{まる}丸かぶりしていただきます。その年の^{とし}恵方（^{としがみさま}年神様が^{ほうこう}いる方向）を^む向いて^た食べます。そのまま^た食べるのは「^{えん}縁を^ききらないように」という^{いみ}意味です。

^{きゅうしよく}給食では、^きいろいろな^ぐ具を^ま混ぜて^{えほうま}ごもくずしを^{つく}作りました。のりに^ま巻いて^{えほうま}恵方巻きの^たように^た食べて^{みま}みましょう。



だいず 大豆

^{せつぶん}節分には「^い炒り^{だいず}大豆」を^{つか}使って^{まめ}豆まきを^{まめ}します。豆を^{まく}まくことで、^{おに}鬼（^{わざわ}災いや^{びょうき}病気など）を^お追い^{はら}払い、^{ふく}福を^{まね}招くと^{いわ}われています。

^{せつぶん}節分に^{まめ}まく豆は「^{ふくまめ}福豆」といい、^た食べると^{いちねん}一年を^{げんき}元気に^す過ごす^{こと}ことができると^{いわ}われています。

^{きゅうしよく}給食では、^{はい}あげ^{からめ}からめに入っています。よく^たかんで^た食べ^まましょう。

